



日本サーバス本部会報 2018年11月15日発行

日本サーバス会長

天変地異に心が乱れる夏が過ぎ、実りの秋も足早に去りつつあります。会員みなさまにおかれましてはお変わりございませんでしょうか。各支部ではいろいろな集いが開かれていますとお聞きします。日本サーバスに集う者としてぜひ、情報をシェアしたいものです。

今回の本部会報では、10月にソウルで行われた国際会議の様態と参加者の感想を、そして関東支部のWebで紹介されたサーバストラベリング体験報告の一部を中心に作成しております。ご一読頂けたら幸いです。

1 2018 国際会議 (SICOGA) 参加報告

1. 会議のアウトライン
2. 会議の内容 (時系列で)
3. 決定したこと
4. 参加者感想

九州支部 (福岡) T. Y.
九州支部 (熊本) M. S.
近畿支部 (京都) W. H.
九州支部 (長崎) M. M.
九州支部 (長崎) O. T.

2 国際サーバス新役員紹介

- 3 サーバストラベリング報告 ドイツ紀行 関東支部 K. M.

4 日本サーバス本部から

1. 第41回日本サーバス国内会議 (2019年) について①日時・場所決定 ②役員改選
2. Servas Britain に SYLE の申し入れ
3. 来年の国際交流活動予定
 - (1) 2019 東アジア国際会議について
 - (2) 「この指、止まれ！」のツアー企画
4. トラベラー受入れ報告に Web 活用を！

5. Servas Online (SOL) の情報は最新ですか？

編集後記にかえて

1 2018 国際会議 (SICOGA) 参加報告

「開催年によって内容に多少の違いはありますが、だいたい以下のような内容で行われています。「3年に1回の国際会議、一週間も何をやっているの?」という素朴な疑問をお持ちの方がいるかも知れませんので、ご参考までに少し詳しく記してみます。参加者感想と合わせてお目通しください」

1. 会議のアウトライン

会議の名称等： 会議の正式名称は Servas International Conference and General Assembly (SICOGA)

期日：2018年10月13日(土)～20日(土)

場所：韓国ソウル、インターナショナルユースホステル

参加者数：登録者168人(これ以外に韓国会員大会参加要員多数)

参加国数(議決権保持国)：48ヶ国(議決権委任国+3)

日本からの参加者：5人

2. 会議の内容(時系列で表示)

*10月13日(土) 受付と前夜祭

午後1時から受付開始。5時から開会式。

開催国・韓国から太鼓演奏をはじめ、独唱、集団でのテコンドウ、国際サーバス会長や開催国会長挨拶、サムロリ、韓国舞踊、ギター演奏等、多数のパフォーマンス。7時から夕食パーティ。9時から連絡伝達。

*10月14日(日) 会議1日目 <註：GAはGeneral Assemblyの略、以下代議員による会議をGAで表します。オブザーバーも自由に参加できますが、投票権はありません。GA01～GA11までありました>

・午前6時30分から自主企画として、ヨガ、サイクリング、公園内散策等あり。7時30分から朝食。

・8時30分から10時15分まで全体会(GA01)。

・全体会はじめにIcebreaking、会議開催までの経過報告、会議の進め方、会議担当者の紹介、ワークショップ案内等々。

・10時45分から12時30分まで4つのグループ ①National Peace Secretaryの役割 ②ユースグループ ③ServaOnline ④Moderator training に分かれてworkshop、

・午後の前半は ①ユースグループ ②サーバス創立者Bobについて ③Ethical traveling ④Moderator training。

・後半は ①国連でのサーバスの果たしている役割 ②国際開発チームの活動 ③SOL ④Moderator training。

- ・公式の GA 会議と平行してオブザーバー対象のツアー催行。
この日は許浚（ホジュン）フェスティバルや National Museum へ。
- ・午後 9 時から Speakers Corner でインドとスペインから Gandhi についての研究発表

*10 月 15 日（月） 会議 2 日目：この日の食事は Vegetarian Day.

- ・午前中いつものように朝食前の activity。その後朝食。
- ・午前の部前半は前日のワークショップのグループ別報告
- ・後半はさらにグループ別のワークショップ ①ユースチームを中心とした Making Connections ②平和団体としてのサーバス ③ServasOnline の将来。
- ・午後は 2 コマとも事前に本部や各国から提案されていた議案を巡っての Subject Working Group (SWG) 別の会合。事前に motion を出していない国の delegate も必ずどこかの SWG に入って討議に参加。
- ・夕食後は役員選挙立候補者 24 人のスピーチ。
(SI Exco 本部役員：6 people / 6 seats、会計監査：5 / 3 seats、開発チーム：7 people / 5 seats、ユースチーム：5 people / 5 seats、Distant vote Administrator (メールによる投票責任者)：1 people / 1 seat)

*10 月 16 日（火） 会議 3 日目：この日から提案されていた motion (40 本) に対する確認と採決がはじまる。

- ・午前中前半 (GA02・GA03) は会議の進め方、採決の仕方、3 年の任期途中で交代した役員の承認、代議員の義務等の説明。平行して代議員以外の SOL チームの会合。後半はメンバーグループ承認や新しくメンバーグループに加わった国の紹介、会議のルール等、細かな承認が次々に行われた。
- ・午後からは前半 (GA04) ・後半 (GA05) とともに会計関係の報告、会計監査報告、予算の提示、予算を伴う議案の提案。途中、随時、委員会別に投票。
- ・オブザーバー参加者用に特別ツアー、昌徳宮等の世界遺産見学が企画され、大部分の参加者はそちらに参加。
- ・夕食後、9 時から各国からの出し物開始。これは 4 日間行われた。

*10 月 17 日（水） この日はエクスカーションデー。

全員で DMZ (非武装地帯) へ大型バス 4 台を連ねてツアー。

*10 月 18 日（木） 終日 (8:30~18:00)。4 コマ (GA06) (GA07) (GA08) (GA09) の会議で議案の審議・修正・採決。その合間に役員選挙投票が行われていった。

- ・午後 9 時からは各国からの出し物、交流。
- ・オブザーバーは特別ツアー企画で、景德宮や市場や韓国の伝統家屋の残る北村 (プッチョン) 等の散策等。

*10 月 19 日（金）

- ・午前中の会議は(GA10) (GA11)は motion の審議・修正・採決。この日は予算措置を伴わない議案の審議。
- ・午後はオブザーバーを含めて全員が参加対象でテーマ別分科会。テーマは①将来的にはインタビューはどうなるか。②好ましいサーバス旅行 ③SOL ④Making Connections の次の段階への移行。⑤国際サーバスの記録保存 ⑥Speaker' s corner ⑦異文化間コミュニケーション等が設定され、各自自分の関心に応じて参加。
- ・夕食は最後の夜ということでアルコールも出て、円卓のパーティスタイル。引き続き、各国の出し物や全員でのダンス等多数の企画があり、盛り上がった。

*10月20日(土) 最終日

- ・午前中は積み残し議題の審議や国際サーバス会則の修正、議事録の承認、次回の開催について等。終了予定の12時30分より、早く終了。急遽、全員で会場裏の山にあるお寺まで散策することになった。こういうことはSICOGA 始まって以来のことではないか、という声も聞かれた。全員でのエクスカッション以外、会場から一歩も外に出ていなかったのも、林の中をそれぞれにおしゃべりをしながら歩くのは解放感もあり、とても気持ちよかった。高台からソウル市内も一望できた。(次回開催地にはポルトガルとインドが立候補。決定までにはいろいろな審議があり、たいへんだそう。韓国メンバーから聞いた)
- ・最後の昼食をとって、無事終了!

3. 決定したこと

40数本出されていた議案の全ては提案者が取り下げを表明する以外はGAにあげられます。そのひとつひとつに対して全体で修正や採決が行われました。内容はminutesとしてプロジェクターで大きく映し出され、会議の席で確認されていきましたが、その総まとめが11月13日にWebに掲載されました。以下の箇所をごらんください。

Servas International→Community→International Conference→SICOGA2018→About the General Assembly→After General Assembly

直接的に日本サーバスに影響をもたらす部分については国際部と相談しつつ、メンバーリスト等を通じてお知らせをしていきたいと思っております。

4. 参加者感想

《日本サーバスから5名参加しました。参加記を寄せていただきました。紹介します》

韓国ソウルでの第31回サーバス国際会議に参加して

(2018年10月13日～10月20日)

九州支部 T. Y.

九州支部から0会長を含め4名、京都から1名の会員が参加しました。いつもは遠いところで国際会議が開かれていましたが、今回はお隣韓国ですので思い切って

参加しました。各国の代表の方々はたくさんの課題を議論され1週間毎日朝8時30分から夕方6時ごろまで会議に臨まれました。本当にお疲れになったと思います。私は内容がよく分からないまま、また英語もよく聞き取れないまま何回か会議を見に行きました。そのうち分からないなりにその雰囲気にも慣れ、ヒアリングのつもりで会議室の片隅に勉強と思って座っていました。0さんから「ちょっとだけここに座っていて」と頼まれ、代わりに私が日本代表の席にちょっと座りましたが、緊張ものでした。

国際会議ではオブザーバーのために夕方、次の日のお楽しみイベント（遠足）が発表され、私も2度参加しました。

会議中日の17日は会議がお休みで、全員でDMZ（非武装地帯）にバス4台で出かけました。行きがけ1時間半近くたってもバスが出発しなくて、皆いらいらし始めましたがヨーロッパの方たちは合唱し始め上手にストレスを解消していました。遅れた理由は、DMZで、事前に当局に届けてある名前とバスに乗車している人の名前とが一致していなければならないのに、一人あっていないくてその照合に手間取ったためでした。

DMZの奥の検問所ではバスの中に韓国軍兵士が乗ってきてパスポートをチェックしていき、ちょっと緊張しました。北が南に侵入するために掘った4つのトンネルの内、地下73mにある第3トンネルの中を歩きました（約1.6キロ）。手で掘られたトンネル内は急な坂が長く続き、大変な作業であったと思います。トラ展望台から見る北朝鮮の様子は人影や車などは全く無く、時間が止まっているようでしたが、こちら側は写真を撮る観光客で賑っており、遠くに報道などで聞くケソン工業団地も見えました。近い将来皆仲良く暮らす日が来る事を願わずにはおられません。



カントリープレゼンテーション。日本チームの出し物

今回、ホストをしたり、逆にホストをしていただいたりした各国の何人もの顔見知りの方達と再会できた事は嬉しい事でした。

夜9時から行われた各国の出し物では、私たちは浴衣に桜の花を持って「さくら」を踊りました。毎夜、0さんの指導の下、練習をしたかいがあつて大成功でした。皆から写真攻めでした。その後、0さんお1人で「おてもやん」を踊られ拍手喝さいでした。

この会議のために韓国サーバスは3年に亘って準備をされてきたそうです。本当に心温まるお世話をいただき心から感謝いたします。世界各国からの皆さまとお会いでき、同じ時を過ごせ貴重な1週間でした。

第31回サーバス国際会議に参加して

九州支部（熊本）M. S.

熊本空港からたった1時間、飛行機に乗ったらもうソウルに着きます。航空料金も安く、熊本からは東京に行くより近くて安い。こんなに近くて、そして食いしん坊で韓国料理が好きな私は、10月の予定はどうなるか解らないけど、とりあえず参加参加申し込みをしようとスイス銀行に参加費を国際送金しました。今回も他の国の方で当事者が来れなくなったので自分が代わりに来た、というオブザーバーに3人会いました。ですから、とりあえず、参加申し込みをするといいと思います。万が一行けなくなっても、代理の人は

見つかると思います。世界 100 以上 1 万 5 千家族のサーバスを全体から見る良い機会だと思います。

会議の様子は皆さん熱心で、オブザーバー同士でも、サブジェクトや モーションについて語り合いました。国や言葉が違う中で、考え方の違いや行動の違いを再認識しました。ユースサーバスの参加も多く、若い人と話すのが好きなので、各国のユース代表と熱く語り合いました。

朝食は 07:30 からで 08:30 にはもう会議が始まり、提議された内容の審議が進められます。昼食休憩は 12:30~13:30。日によっては代議員以外の参加者を対象に市内ツアーがあったりしました。夕食は 19:00~20:00 で、それが終わると 21:00 からは個別のプレゼンテーションが始まります。その間に、私達は日本からのカントリープレゼンテーション用の踊りの練習。

M さん、浴衣と帯を持って来てくださって有難うございます。O さん、踊りの練習と桜の花を持って来てくれて有難うございます。

私は朝は 6 時からサイクリングをしたり（ソウルのサイクリングロードの整備を改めて感じ）、会場の隣の公園を歩いたり、昼間は会議や韓国での会議の後に、日本に向かう（旅行）参加者からの質問に答えたり、フェリーやバスの時間を調べたりして、まるで旅行エージェンシーかと苦笑したくらい、調べものに時間を費やしました。会議終了後は同じユースホテルにそのまま個人で延泊し、やっとゆっくりできて、マッコリ~焼肉で、韓国に来て良かったと実感しました。

はじめての SERVAS 国際会議

近畿支部（京都）W. H.

近畿支部長の H さんに「今度国際会議韓国だけに行きませんか？」と言われ、韓国ドラマ好きの私は「行きたい！」と即答しました。結局 H さんをご都合で参加されませんが…えっ私ひとり？ SERVAS 歴短いのに大丈夫？ でも何故かやめようという選択肢はなかったのが不思議でした。

結果的に心底楽しかったのも、なにか見えない力で背中を押されたのかも知れません。O 会長はじめ今回参加された九州 SERVAS の皆さんとはメールのやり取りで事前にコンタクトがとれた事、特に国際会議経験者の村山さんとは何度も電話でお話ができ心強かったです。

不安と緊張でのりこんだ韓国でしたが、はじめましての九州 SERVAS の皆さんのお陰でこれからの 1 週間がちょっと楽しみになりました。

初日会場のインターナショナルユースセンターエントランスは今までに遭遇したことのない光景で盛り上がってました。いろいろな色の輪の繋がりが見えた気がしました。これが SERVAS なんだ~とテンションマックス！ 私は言葉の壁に戸惑いつつも昨年カルガリーでガイドして下さった方との再会にわくわくしました。その日の夕食後、SERVAS KOREA の心こもる歓迎パフォーマンスは感動もので、本場のテコンドーは圧巻でした。

連日のおもてなし企画（オブザーバー参加者対象）で昌徳宮、全員参加の DMZ、古い町並みの北村と Delegate の O さんには悪いと思いつつ韓国観光も満喫できました。インドの方の早朝ヨガや、アジアミーティングにも参加させていただいたり、数分でしたが

Delegate の気分も味わわせてもらいました。友達との再会も果せました。

今後の私の人生にも影響するような貴重な体験ばかりで、今回の無謀な参加は大成功でした。48 カ国の Delegate が国連さながらのシチュエーションで熱い意見を戦わせるこの現場にいる自分が信じられませんでした。

最終日は観光はおあずけして会議に出ることに。少し英語にもなれたのか？ヒアリングがほんの少し上達したような気がしました。

帰国後バッグには国内を含め 11 枚の名刺がありました。自分の名刺を作ってなかった事は後悔しました。そして私の英語力がもう少しあったらより親密になれたのにとすると悔しかったです。こんなにグローバルな仲間との出会いは二度と経験できないと思いました。

カントリープレゼンテーションのため繰り返し練習した♪さくらさくら♪ 日本舞踊にはむいてない体型の私ですが、すごくいい思い出になりました。台湾のプレゼンテーションではのりのりの曲で踊ったり、チマチョゴリを着たり、SI President の Jonny さんとのハグは最高でした。楽しい思い出満載の 1 週間でした。

いろいろ気遣ってくださった韓国 SERVAS そして九州 SERVAS のみなさんほんとうに有難うございました。

The world will live as one

九州支部（長崎）M. M.

国際会議最後の夜、Closing Evening Celebration の最後、みんなで肩を組みながら、“imagine “を合唱しました。“♪ imagine there’s no country” “♪ world will live as one.” 今まで、この歌を歌ってきた中で、この歌詞がこんなにもピッタリ合う場面に出会ったことはありません。

Servas メンバーになって、まだ 1 年にも満たない私ですが、本当に世界が小さく感じるというのが servas の一番の印象です。この会議に参加させていただき、さらにその思いが強くなりました。国際会議に参加するにあたり、少し予習しようと思ったのですが、何が何やらさっぱりわからず、正直言って、具体的な会議内容にはあまり興味関心を抱けないままでの参加でした。

各国から提出された motion について、一言一句丁寧に、真剣に議論し、民主的に議決していく様子を目の当たりにしました。英語こそついていけませんでした。何となく servas とはどんなものか、何が論点になっているのか、新参者なりに雰囲気だけは味わうことができたような？気がします。

何よりもおもしろかったの、夜の country presentation です。私たち日本チームも、にわか準備ではありましたが、会長さんのリードで、全員浴衣姿で「さくらさくら」を披露することができました。まさに、“Connecting people and cultures for peace” でした。

個人的には、この冬、娘のイギリス旅行でホストしてくださる方々に、事前に直接会っあいさつできたこと、国際交流の一環として取り組んでいるプロジェクトでたくさんの協力が得られたことなど、本当に実り多き初体験の国際会議でした。

O会長さんはじめ、共に行動させていただいた日本チームの皆さん、本当にお世話になり、ありがとうございました。

役割は果たしたかなー？



General Assembly (GA)。中央がmoderator

九州支部 (長崎) O. T.
国際会議に代議員 (delegate) として参加しなければならないというのは昨今の私には、正直、非常に重荷でした。まず、1週間の会議に耐えられる体力があるかどうか。自信がありません。次に会議の official language である英語力です。英語を使わなくなってから 15 年が経過しています。そこそこの日常会話はどうにか間に合い

ますが、議論をするには到底及びません。でも、代わってくださる方を見いだせないまま、会議へのイメージもつかめず、ずるずると会議日が近づいてきました。どんどん届けられる会議ニュースや motion も「これ何？」という感じでしたが、観念して、それまでに着信していた参加案内や注意事項、提案 motion (43 本。内 3 本は取り下げ) を全て印刷し (120~130 枚)、1 ページずつ辞書を引ながらきちんと読み、自分の意見をメモしていくことにしました。暑い中でいやいやながら英語文書を読むのですから遅々として進みませんし、うまく理解できないものもあります。仕方が無いので、IT や SOL 関係の motion は N さんに、ホストリストや財政関係は T. M. さんに、そして会則やヴィジョン等は T. K. さんに送って、日本サーバスとしての態度の賛否についても意見を求めました。お三方とも困り果てている私に同情して下さったのでしょう、速やかに、特に N さんは外国にお出かけ中でしたが、そこからスマホ対応で何回かに分けて返事をくださいました。これで、気分がずいぶん楽になりました。

印刷した全ての motion に簡単な意見を書き込み、インデックス等をつけたら分厚いファイルになりました。しかし、それで終わりではありません。motion はワーキンググループによって次々に update されますから、国際サーバスの Web ページは毎日チェックする必要があります。

そんな折り、2012 年の Pathway Together 以来交流のあったドイツ NS の C が国際会議参加のついでに日本旅行をし、我が家にも来てくれることになりました。分厚いファイルをもつてのトラベリングです。その体力とエネルギーには脱帽します。我が家での 3 日間は、二人でサーバスの話ばかりしました。私にとっては国際会議前に国際サーバス全般について個人レッスンを受けたようなもので非常にありがたかったです。ほんの少しだけ、錆び付いていた脳内英語回線が復旧し、イヤイヤ期の幼児から、「なるようになるさ、出たところ勝負で行こう!」、と生来の自分に戻って、ゆっくりした気分で会議に臨むことができました。

今は、曲がりなりにも国際会議の全日程に参加し、意見表明のパドルの上げ役を果たし、カントリープレゼンテーションも無事に済ませて、開催国韓国に対して、隣人としての協賛役も果たしたのではないかと自己査定しています。

SICOGA では、またまた、たくさんの友人ができ、行きたいところばかりになりました。ご同行のみなさま、motions を丁寧読み、コメントをくださった役員のみなさま、多大なご支援、本当にありがとうございました！ 貴重な経験をさせていただきました。

2 国際サーバス新役員紹介

SI Exco (国際サーバス本部役員) :

会長 : SI President: J. S. Sweden
副会長 : SI Vice President: C. K. Portugal
事務局長 : SI General Secretary: K. T. Malaysia
会計 : SI Treasurer: R. B. R. USA
ピースセクレタリ : SI Peace Secretary: P. L.

USA

ホストリストコーディネーターは名称変更→MTセクレタリ : SI Membership and Technology Secretary : A. B. Switzerland

監査委員会 : SI Audit Committee :

G. E. Turkey、L V S. India、P. C. USA

開発委員会 : SI Development Committee :

E. D. Poland、F. R. Rwanda、L. K. B. Mexico、P. Y. Taiwan、P. C. Argentina

ユース部会 : SI Youth and Families Committee :

M. F. Spain、N. N. Italy/Pakistan、A. C. Chile、S. M. Spain、R. R. Italy、

メール投票責任者 : SI Distant Vote Administrator : C. P., New Zealand



選出された国際本部役員 6 人。

右からピースセクレタリ、会長、事務局長、会計、副会長、HLとIT関係責任者。その道の専門家を加え、若返りの布陣です。Jonny会長も3期目の今回で終了の宣言をしています。

3 サーバストラベリング報告

ドイツ紀行

関東支部 K. M.

「関東支部の Web ページに、本旅行記は掲載されています。そちらをお読みいただきたいのですが、コミュニティハウスにステイのめずらしい体験ですので、抜粋してご紹介します」

ニュールンベルグ駅のホームで私たちを待つ S はサーバスロゴをプリントした T シャツを着ていたのですぐ分かった。駅周辺には車を置ける場所がないので路面電車に乗って S は

私たちを自宅に案内した。彼の住居は集合住宅だ。

実は今回の旅を終えてから長々と報告書を書く気になったのはここニュールンベルグで体験したことをサーバスの皆さんにぜひ紹介したいと思ったからだ。

S が妻、L と住む家はいわばコミュニティハウスと言われるものだ。3階建てのアパートが三棟、コの字型に建っていてそれらのアパートに囲まれて広い中庭がある。

そして一階にはそれぞれ集会所や居住者たちで運営するカフェがある。更に地下には各戸専用の倉庫スペースと広い駐車場が設けられている。駐車場に止めてある車はカーシェアリングシステム。何よりも感心したのは居住者同士が相談して利用方法を決めたというスペースでそこには買いすぎてあまった食材や着なくなった服などを置いておく。そこから居住者は好きな物を持っていけると言う。

ここに住む人にとって一番大事なことは月に1回の運営会議であってよっぽどの事情がない限り各世帯から一人は出席して様々な問題を討議し決定するということだ。

このコミュニティに住むのは約 50 世帯。出身地も様々で多様な人種、異なる宗教を信じる人たちからなる共同体だ。

S に中庭を案内される間も多くの人たちと挨拶した。クロアチアから来たという家族、オランダ出身の一人暮らしの女性、そしてアフリカ某国の難民だった家族。ベンチに座って S の話を聞いていると集会所から静かにコーラス同好会の讃美歌が流れてくる。足もとに黒猫が寄ってきた。今、飼い主が旅行中なので住民が交代で面倒を見ていると言う。砂場では肌の色の違う二人の女の子が駆け回っていた。



【中庭の遊具も多分、住民の手作りだ】

S と L に子供はいない。しかし、L は私たちに「ここに 20 人の孫がいる」と言った。リビングの壁には「孫」の一人が書いたと思われるリリーの似顔絵がピンで止めてある。

滞在二日目にニュールンベルグの旧市街、三日目にナチスの党大会跡地を S に案内された。S のガイドは玄人はだしだ。特に 75 年前、ナチス勃興のきっかけとなった地を案内する時は当時の写真や新聞

記事のスクラップを手にして、いかにヒトラーが巧妙に国民を欺いたかを説く。私よりも年下の S が自国の負の遺産を後世に伝えようとする姿勢は、彼がコミュニティという形で様々な文化圏の人々と生活を共にする姿と重なって見えた。

ドイツでのサーバストラベルもニュールンベルグで終わり。この後はミュンヘンを根城にして三日間観光してからベルリンから帰国便に乗った。この帰国便で今回の旅での最後の幸運があった。ヘルシンキで成田便に乗り継ぐ予定だったが、この便が台風 13 号の影響でキャンセルになり、やむを得ず名古屋便に変更せざるを得なかった。

うんざりした気分でチェックインしようとしたら係員に呼び止められ私達夫婦のチケット

がビジネスクラスに変更された。人生最初のビジネスシート。台風のお蔭でゆったりと足を伸ばして日本に帰ることができた。

初めてのサーバストラベルではローランドの他にも三人もの素晴らしい会員と交流することができた。遠く離れた地に住む方々だが何故かまた会えるような気がする。それまで私たちは海外から日本を訪れる会員にできる限りの誠意をもって接することが彼等への恩返しだと思ふ。

4 日本サーバス本部から

1. 第 41 回日本サーバス国内会議（2019 年）について

（1）日時・場所決定

期日：2019 年 3 月 16 日（土）12 時 30 分～17 時 30 分

3 月 17 日（日） 9 時 00 分～12 時 30 分

場所：広島市中区袋町 6 番 31 号（Tel:082-545-3911）

広島市まちづくり市民交流プラザ研修室 C

借用機材：プロジェクター電源

* 例年行っている懇親会（夕食会）や会議の詳細については後日連絡いたします。

* 宿舎の手配は個人でお願いします。

* 来年の中四国支部地開催で国内各支部を一周したことになります。

今後の開催地・開催時等については会議でご決定ください。

（2）役員改選

日本サーバス会則で本部・支部役員の任期は 2 年と規定されています。本部役員の場合、途中辞任やその空席就任の時期にばらつきがありましたので、一昨年の国内会議で本部役員改選時期が統一されました。

2019 年はその改選期にあたります。各支部長から連絡が行っていると思いますが、現在日本サーバス役員への自薦・他薦による立候補受付期間中です。誰かがしなければいけない仕事です。ぜひ、力をお貸しください。みんなで少しずつ力を出し合って、サーバスを存続させていただきたいと思ふます。

2. Servas Britain に SYLE の申し入れ

九州支部より大学生の娘さんの SYLE 申請がありましたので、T 九州支部長、SYLE プロジェクトリーダーの N さん、会長、日本サーバス国際部を中心に英国サーバスとメールのやりとりを行い、相手方から SYLE という名称ではないが、複数のホストで申請者を長期間受入れる、という返事をいただきました。更に、国際会議でも Servas Britain の NS と直接お会いして、約一ヶ月半の受入れ計画を確認し、プロジェクトが進行中です。

3. 来年の国際交流活動予定

① 2019 東アジア国際会議について

2016 年、ソウルで行われた東アジア会議で、次回 2019 年の会議はモンゴルで行うということが決定していました。それについてソウルの Ms. H. S. から「2019 年 8 月のはじめごろ、3 泊 4 日ぐらいの予定で開催したい。1 日をウランバートル市内で、あと 2 日は市外地のテントではどうか」との連絡をいただきました。東アジア地区コーディネーターである韓国の S. さんもその線で賛成、の意向が示されていますので、実現の可能性が高まっています。具体化したらメーリングリストを通じてご連絡いたします。

② 「この指、止まれ！」のツアー企画

具体化してはませんが、来年、ドイツ訪問の話が出ています。サーバストラベリングを試みたいけど、ひとりでは・・・と思われている方に、サーバスステイを体験していただくチャンスです。ヨーロッパのサーバスではそういう旅が気軽に行われているようです。日本でもいくつかの支部でそういう旅が過去何回も企画されています。単なる観光地めぐりではない、生活感のある手作り旅行です。時期的には 11 月末から 12 月はじめ、クリスマスマーケットが開かれる時期、列車でいくつかの町を訪れ、地域のサーバス宅にステイという構想です。どなたか企画をお手伝いしていただだけませんか。

4. トラベラー受入れ報告に Web 活用を！

例年、会員のみなさんにトラベラー受入れ報告をしていただいています。今年度から A、B のいずれか、みなさんのご都合のよい方法で報告していただくようになりました。なるべく、Web ページでの報告にチャレンジしてください。（IT 委員長にご苦勞いただきました。ご活用ください！）

A. Web ページでの報告

日本サーバスの Web ページを開き、その中の「[トラベラー受入れ報告](#)」をクリックして指示に従って必要事項を記入していく方法です。送られてきていた LOI を見ながら記入していくと簡単ですし、受け入れた時にすぐ打ち込んでおかれると便利です。支部長さんから「年末報告」依頼が来たときには「Web で報告済み」とご返事ください。

B. 支部長に報告

例年通り、支部長さんから各会員に送られてくるトラベラー受入れ報告に必要事項を記入し、支部長さん宛に返信してください。

*各支部には支部活動報告の様式を近々お送り致します。支部長さんにはご苦勞をおかけしますが、報告、よろしく願いいたします。締め切りは 1 月 10 日です。内容は ①トラベラー受入れとトラベリング報告 ②支部会計報告の 2 つです。上記 A で済まされてい

る方の分の報告は不要です。

5. ServasOnline (SOL) の情報は最新ですか？

時折、海外の会員から、〇〇さんと連絡がとれない、ヘルプして欲しい、などの依頼が日本サーバス本部に入ります。可能な限り、対応しようとしていますが、SOL の個人情報がアップデートされていないことによるものが多いです。特に転居、電話番号やメールアドレスの変更等がオンライン上で行われていないことに原因があります。SOL 上の個人情報は個人で修正できることが SOL の利点でもありますので、ログインやアップデートをお願いします。下記の Web ページを参考に SOL にアクセスされることをお願い致します。

<https://www.servas-japan.org/contents/SOL/SOL.html>

もし、ご不明の事がありましたら、各支部長さんかまたは、Web ページの "Contact Us"

<https://www.servas-japan.org/mailform/contact0-jpn.html> へご連絡ください。SOL 日本管理者が対応して致だけると思います。

編集後記にかえて

天高く青空を仰げる季節。つつい心地よい風に誘われて里山を歩きたくなり、久しぶりに近くの高原に出かけました。お気に入りの場所です。歩いている途中、頭上からチチッ、チチッと集団でさえずっている小鳥の音が聞こえます。姿は見えません。手をたたくと数羽が飛び立ち、続いて残りも次々と近くの木に移りました。雀より一回り小さい小鳥です。エナガかなーと考えながら歩き進めると、大きな溜め池（ツツミ）に出ました。今度は湖面から鴨の鳴き声が響いてきます。この池の住人(?)になっている鴨の一群です。遠く離れた湖岸で手をたたくと九羽の鴨が向こう岸からスーッと近づき、優美な姿を目の前で披露してくれました。思わず、「ありがとう！」

木々は冬支度をはじめていますが、まだまだ懐深く、いろいろな実りを提供してくれています。昨日の夕食はいただいた新米と採集してきたムカゴの炊き込みご飯。五感をしっかり使って秋をたっぷり味わいました。

自然は時折牙をむき、苦しみの種を作り出しますが、至福のよろこびももたらしてくれます。自然との共生、そして人との共生、いろいろな地域で、その地域にあった生活様式や考え方があることを相互に認め合い、学び合いながら、サーバスに集うものとして、多様性と共生の道を探って行けたらいいなーと思いながら11月号を作成しました。

日本サーバス会長